

### 3Qのテーマは3つ「活用・アウトプット・成功体験」

来週から第3Qが始まります。基礎・基本の学力と学習の意欲・態度が十分身につけていると、ここから先は加速度的に学習活動が進んでいきます。それは国語や算数に限ったことではなく、プロジェクト学習や探究学習も同様です。  
今回は、3Qからのテーマについてお伝えいたします。

### 3Qのテーマ「活用・アウトプット・成功体験」

- ①活動の中心の移行「習得→活用→探究」
- ②活動形態の変化「インプット→アウトプット」
- ③努力や協働を必要とする成功体験

#### ①活動の中心の移行「習得→活用→探究」

第3Qからは、段々と活用的な活動を増やしていきます。

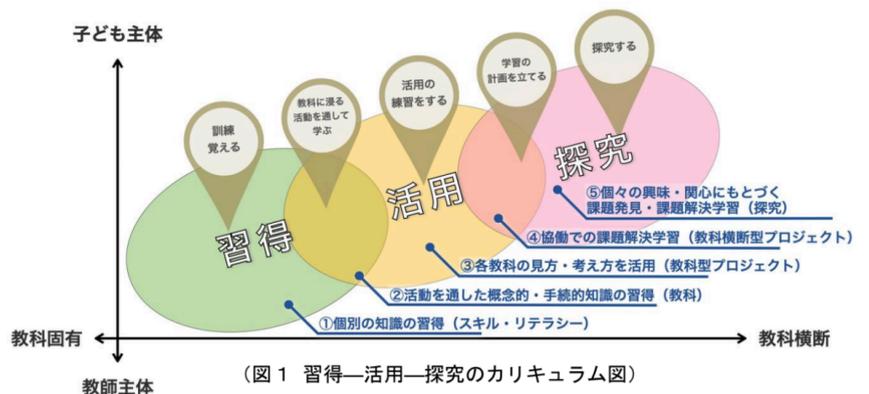
本校は学習活動を右図のように設定していますが、私はこの割合は学年や時期によって変化すると考えています。

例えば、1年生は6年生に比べ習得の割合が高いはずですが、ひらがなやカタカナが習得できていなければ、活用も探究も難しいからです。（もちろん低学年はずっと習得ということはないです）

学年が上がるごとに、活動の中心が習得から活用や探究へ移り変わっていくイメージです。

同様に1, 2Qも習得の割合は高いでしょう。漢字や計算などの基礎・基本の学習はしっかりと定着するまでが大変です。しかし、一度定着すれば、それを忘れないための反復練習に多くの労力は必要ありません。十分な習得を果たしたら、やはり後半からは活用や探究へと活動の中心が移り変わっていくはずですが。

今年度の2年生は順調に学習が進んでいるので、第3Qからは、プロジェクト学習や探究学習はもちろん、国語や算数の授業でも、活用的な内容や発展的な内容を増やしていきたいと考えています。



## ②活動形態の変化「インプット→アウトプット」

①の内容と重なる部分も多いですが、アウトプット型の活動を増やしていきたいです。10才ごろまでは、インプットすることがとても楽しい時期です。「覚えた!」「できた!」「正解した!」という学習の喜びは、今も昔もこれからも変わらないものでしょう。1, 2Qは、こういった楽しさを子どもたちに感じてもらえるよう努めてきました。結果として、基礎・基本の学力と学習意欲が高まり、学習態度も身に付きました。「学び方を学ぶ」という目標も達成し始めています。

後半はアウトプット型の活動に取り組み始める時期です。

しかし、アウトプット型学習はなぜ重要なのでしょうか？全部は思いつかなかったので、ChatGPTに聞きました。

解答1～3がインプット型学習の効果を高める目的なのに興味深いですね。

また、4～6は創造性や人間性と言った数値化しにくい面を目的としているように感じます。

長期に渡るプレゼンテーションや作文の活動を続けると、子どもが精神的に成長したなと感じる瞬間がありますが、アウトプットのこういった効果が発揮されていたのかもしれませんが。

第3Qでは、デジタルブック作り、English projectのポスターや動画作り、ビブリオバトル、プロジェクト発表会など様々なアウトプットの場があります。

これらの活動を経て、きっと子どもたちは更なる成長を見せてくれることでしょう。

## ③努力や協働を必要とする成功体験

だれが言い出したのかは知りませんが、教育界では「行事で子どもは育つ」という言い伝えがあります。そして、私が3Qにある大きな行事の中で、ぜひ子どもたちの成功体験として残したい3つの行事が、「スポーツフェスティバル」「強歩会」「プロジェクト発表会」です。

どれも子どものありのままの姿では成功は難しい行事です。たくさん練習すること、歯を食いしばってがんばること、仲間と力を合わせる必要があります。

がんばって、背伸びしてがんばって、ようやく達成することができたとき、子どもたちは大きな成長を遂げます。

すぐには気付かないけれど、しばらくした後、「最近しっかりしてきたな」「1年生の頃よりもだいぶ成長したな」と思うことも増えることでしょう。

そういった成長を促せるように、上手に目標設定をして、子どもたちの意欲を高め、みんな目標を達成し、喜びを分かち合いたいと思っています。

まずはスポーツフェスティバルのソーラン節ですが、なんとあと3週間で本番です。当日素晴らしい演技を披露できるように、2年生一同力を合わせてがんばっていきます。応援よろしくお願ひします！

学習におけるアウトプットの重要性は何ですか？

学習におけるアウトプットの重要性はいくつかの点にあります。

1. **理解の深まり:** アウトプットを通じて、自分が学んだ内容を再確認し、理解を深めることができます。例えば、教えた説明したりすることで、自分の知識がどれほど定着しているかが分かります。
2. **記憶の定着:** 学習した情報を実際に使うことで、記憶が強化されます。繰り返しアウトプットすることで、情報が長期記憶に定着しやすくなります。
3. **フィードバックの取得:** アウトプットによって他者からのフィードバックを得ることができ、自分の理解やスキルを改善する手助けになります。このフィードバックは、自己評価だけでは得られない貴重な情報です。
4. **自信の向上:** 自分の知識やスキルを実際に使うことで、学習に対する自信が高まります。これがさらなる学習意欲につながります。
5. **問題解決能力の向上:** アウトプットは、実際の問題に対して学んだ知識を応用する機会を提供します。このプロセスを通じて、クリティカルシンキングや問題解決能力が向上します。
6. **創造性の促進:** アウトプットを行うことで、新しいアイデアや視点が生まれることがあります。特に、創造的なプロジェクトや発表などは、学んだことを新たな形で表現する機会となります。



